

2月18日 財政福祉委員会（山口清明副委員長・さいとう愛子委員）

陳情 4 件を審査

医療・介護職場の労働条件 実態把握と改善を

2月18日の財政福祉委員会では、陳情4件を審議。日本共産党は4件の採択を求めましたが、全て「ききおく」となりました。

労働条件の改善と人員増の必要性 問題意識を共有

「安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善、大幅増員を求める意見書提出に関する陳情」では、看護師など夜勤交代制労働者の労働時間を1日8時間、週32時間以内、勤務間隔を12時間以上にすることを求めています。さいとう愛子議員は、日本看護協会のガイドライン「勤務の拘束時間は13時間以内」「勤務と勤務の間隔は11時間以上あける」を示し、両方クリアすべ

財政福祉委員会での陳情審査の結果（2016年2月18日）

| 陳情名（陳情者） | 結果 |
|---|------|
| 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善、大幅増員を求める意見書提出に関する陳情（愛知県医療介護福祉労働組合連合会） | ききおく |
| 介護従事者の勤務環境改善及び処遇改善の実現を求める意見書提出に関する陳情（愛知県医療介護福祉労働組合連合会） | ききおく |
| 愛知県看護職員15万人体制などの実現を求める意見書提出に関する陳情（愛知県医療介護福祉労働組合連合会） | ききおく |
| 日本国憲法第25条に基づく権利保障としての社会福祉事業を守り拡充することを求める意見書提出に関する陳情（権利としての福祉を守る関係団体共同実行委員会） | ききおく |

き水準であることを確認。3交代制のみの病院では58%が「勤務と勤務の間隔は11時間」以内で仕事に入っている、2交代制のみの病院では80.4%が「拘束時間は13時間を超える」調査結果（日本看護協会）も示し、労働条件を改善しなければ、いくら看護師を養成しても働き続けることは困難であることを指摘しました。

介護職員の処遇改善について、さいとう議員は、介護職員からの労働実態調査を求めましたが、当局は、事業所からの報告によって把握していきたい、との回答にとどまりました。

社会福祉施設職員等の退職手当制度 公費助成へらすな

「社会福祉事業を守り拡充することを求める意見書提出に関する陳情」について、さいとう議員は社会福祉施設職員等の退職手当制度が現行どうなっているか確認。現行制度では福祉医療機構が共済制度の運営者になっていて、現在は国・都道府県・社会福祉法人が3分の1ずつ負担。参議院で審議中の内容は、その負担を全て社会福祉法人に担わせようとするもの。職員1人あたり年間44,700円を社会福祉法人が負担していますが、その負担を3倍加するというものです。

社会福祉法人への地域公益活動押しつけも狙われています。日本共産党は、社会福祉法人の負担が増える一方だ、と陳情への賛同を求めました。

市政懇談会を行いました

多くの方から、天守閣や議員報酬等への意見

日本共産党名古屋市議団は、恒例となっている市政懇談会を2月12日に行いました。山口議員が2016年度予算について、江上議員が報酬引き上げと定数削減の動きについて報告をおこなった後、参加者から質問や意見が寄せられました。多くの方々から、天守閣木造復元や市民サービス、議員報酬などについて意見が出されました。

